

風早北部地域ふるさと協議会
防犯防災部
第3回防災活動に関する意見交換会

ごあいさつ

先月上旬に新型コロナ感染拡大の第7波がピークを示し、その後は高止まりの中で前の週との比較において日々減少の数字が続いています。医療関係のひっ迫の動向は概ね回避されているとの評価にて、直近での柏保健所管内の感染症の新規陽性者数は、多少の上がり下がりが大きいですが、概ね一日に200名から400名台で推移しています。クラスター発生もなかなか収まらないことでは、昨年のようなワクチン効果も見いだせない、その一方で政府は経済活動を止めない、入国者数も制限を外すといった展開も予定されており、我々国民一人ひとりの日々の生活における引き続きの自覚とこまめな対策以外に、安心策はないのが核心ではないでしょうか。

感染症以外では、今後も当面自然災害、特に台風による大雨、土砂災害などに引き続き警戒が必要です。先般（9月1日付）で住民に紙面でお配りしました防災NW通信（防災の日特別号）は、自分の命は自分で守る、そのための情報も自分で把握することを基本に、行政や他人に任せっきりにしないことの呼び掛けをさせて頂きました。あくまでも、長年地域防災に関わったことをもっての私見ですが、これを住民個々が励行する、真摯に向き合うことで被害は最小限で済む、逆に申しますと、それが十分でないで災害犠牲住民が拡大し、地域がいろいろな意味で疲弊、活動が消滅すると考えています。

本日の会議では、前回に続き防災訓練の内容を幾つかご提示し、併せて後半では避難所毎に分科会形式で、避難所ルール、更には、災害時に怪我をしないための取組みをご協議頂きますので、限られた時間ですが何卒よろしくお願い申し上げます。

令和4年9月24日
風早北部地域ふるさと協議会
防犯防災部長 古山博之